



発行 西区まちづくり課  
〒651-2195 神戸市西区玉津町小山180-3  
☎(078)929-0001(代) FAX(078)929-0030  
区役所窓口時間: 8:45~17:15  
1月11・25日☎は19:00まで(一部窓口)  
ホームページ: <http://www.city.kobe.lg.jp/nishi/>  
電子メール: [nishi@office.city.kobe.lg.jp](mailto:nishi@office.city.kobe.lg.jp)  
西区の姿(平成29年12月1日現在) 人口/243,342人  
世帯数/98,838世帯 面積/138.01km<sup>2</sup>

西区の伝統芸能

# 鬼やらい

西区にはさまざまな伝統芸能があり、古くから地域の皆さんの努力によって伝えられてきました。年初めは各地で「鬼やらい」が行われています。各地域に出掛け、西区の伝統芸能を肌で感じてみましょう。



たいさんじ

## 太山寺

うんけい きめん

国宝の本堂内で、運慶作と伝わる鬼面をつけ、走り鬼と3匹の太郎・次郎・婆々鬼が悪霊退治をします。

松明を持ち、太鼓の拍子に合わせて四股を踏み、勇壮な踊りを披露します。

日時 1月7日(日)14:00頃~

住所 伊川谷町前開224

アクセス 地下鉄「名谷駅」・「伊川谷駅」または  
JR・山陽「明石駅」より神姫バス「太山寺」  
下車徒歩3分

問い合わせ 太山寺 ☎・FAX976-6658

太山寺の鬼やらいの見どころは立派な鬼の面です。4つの鬼(走り鬼、太郎・次郎・婆々鬼)の面は非常に古くから使われており、それぞれ喜怒哀楽を表しています。踊りでも喜怒哀楽を表現していますのでご注目ください。また国宝に指定されている寺の本堂で踊る点も特徴です。皆さんもぜひ鬼のすぐ近くでこの迫力を味わってみてください。

みわけ やすつぐ  
三譯 康嗣さん



しょうかいじ

## 性海寺

たいまつ おのつち

親鬼(赤鬼・青鬼)は松明と斧・槌・鬼の花などを持って太鼓とほら貝の音に合わせて華々しく舞い、子鬼は棒を持って踊ります。精巧に作られた鬼の面の端正な表情にも注目してください。当日は参拝者へ餅投げや田楽などの接待もあります。

日時 1月8日(月・祝)13:00頃~

住所 押部谷町高和1318

アクセス 地下鉄「西神中央駅」または  
神戸電鉄「押部谷駅」より神姫バス  
「性海寺」下車徒歩5分

問い合わせ ☎994-0066(福智院) ☎994-0067(龍華院)  
FAX 995-0692(龍華院)

性海寺の鬼の面は300年近く使い続けられている伝統ある面で、後頭部まで覆い隠すほど大きいのですがとても軽いのです。鬼やらい終了後は皆さんも面を着けられるのでぜひ体感してみてください。私は約70年間、鬼を演じてきましたが近年は踊りの指導をしています。小学生の頃に先輩から教えてもらったように、今後は若い世代に継承したいと思います。

たけがわ たかし  
武川 隆さん



きんこうじ

## 近江寺

鬼踊りは無の踊り、花の踊りなど6種類あります。花の踊りでは、鬼が造花の桜を持って踊り、その花を持ち帰って家に置くと厄除けになると言われています。子どもたちの演じる子鬼が元気よく声をあげ、ほのぼのとした雰囲気で行われます。

日時 2月11日(日)13:00頃~

住所 押部谷町近江147

アクセス JR・山陽「明石駅」または地下鉄  
「西神中央駅」・神戸電鉄「押部谷駅」より  
神姫バス「上細田」下車徒歩30分

問い合わせ 近江寺 ☎・FAX994-0007

近江寺の鬼やらいの見どころは「花の踊り」に用いる桜です。一つ一つ手作りで、非常にきれいに見えます。また近江寺の場合は、鬼おどりの演者を8地区で1年ごとに交代して担当しており、今年は木見地区が担当します。地域によって指導者が違い、踊りも少しずつ違うので、過去に見に来られた方もぜひ見に来ていただければと思います。

ながお こうどう  
住職 長尾 弘道さん

